

工業科 目標

- ①学びをとおして自分と社会とのつながりを意識できる。
- ②工業技術の基礎・基本の定着を図る。
- ③キャリア教育を通して工業技術の進歩に適應できる能力を高める。
- ④望ましい勤労観や職業観を育成する。
- ⑤習得した知識・技術・技能を地元産業で活かそうとする意識を高める。
- ⑥倫理観を養いよりよい社会をつくる意思を育む。

豊総ビジョンH29

”学びを生かし挑戦する”豊岡総合高校
— 地域文化に根ざした個性ある学校 —
地域に輝く豊総文化の創造

総合学科 目標

- ①学びをとおして自分と社会とのつながりを意識できる。
- ②自分の適性を知り、将来の目標に向けて基礎力をつける。
- ③国際感覚を養い、地域理解に努める姿勢を養う。
- ④知識や技術・技能を生かして社会に貢献する意識を高める。
- ⑤自ら課題を設定し、解決に向けて主体的に取り組む。
- ⑥倫理観を養いよりよい社会をつくる意思を育む。

実践1

- ・少人数及び習熟度別授業の積極的な導入
- ・課題考査と小テスト、週末課題による学力の定着
- ・補習並びに補充授業による学力の向上
- ・校内学習会の実施（年2回）
- ・模擬試験のデータの活用（弱点の克服）
- ・一般常識及び小論文指導の充実化

- ・実践に即した面接練習と指導
- ・補習授業による資格と検定対策
- ・読書啓発運動の充実（図書日より）
- ・ヒプリオバトルの実施
- ・読書タイムの導入

- ・HP情報の適宜更新と充実化
- ・地域への情報発信「総合高校だより」
- ・オープンハイスクールによる啓発（年2回）
- ・総合高校発表会の見学者増進
- ・保護者会並びに説明会の充実
- ・ふるさと貢献活動事業の推進

- ・工業科移動展及び工業フェアによる啓発
- ・親子工作教室の実施
- ・ふれあい単身高齢者電気工事「あかり」の実施
- ・ふれあいコンサートの実施
- ・地域ボランティア活動への参加促進

実践2

- ・発見/問題解決学習/体験調査学習の充実
- ・グループディスカッション実施
- ・グループワークの導入
- ・産社及び総学による系列的キャリア教育
- ・職業体験や職場見学への参加促進（1年）
- ・1ヶ月-アップによる職業観の育成（2年）
- ・地元企業と大手企業との連携
- ・高大連携事業の活用
- ・課題研究の理解度の深化
- ・「匠の技の継承事業」の活用
- ・センター入試の早期対策
- ・総合学科推薦の有効利用と対策
- ・工業科推薦の有効利用と対策

方針1 育てたい生徒像

- ・細かな少人数制教育と習熟度授業
- ・授業形態の創意工夫
- ・専門教科の資質向上
- ・アクティブ・ラーニングの活用
- ・教科の枠を超えた教科指導
- ・多様な選択授業の活用
- ・実践を通じた技術指導
- ・キャリアガイダンスの充実
- ・進路目標への早期の取り組み
- ・資格取得によるスキルアップ
- ・多様な入試制度への対応

地域に必要とされる学校づくり

- ・保護者と地域住民との連携
- ・地域を支える人材の育成
- ・広報活動による「豊総ファン」の獲得
- ・「チーム豊総」としての組織体制の強化

方針2

- ・職員の適性に応じた組織体制の確立
- ・会議内容の周知と共通理解
- ・校内及び校外研修による技術力の向上
- ・「ひょうごの達人」招聘事業の活用
- ・職員の技と知識の共有
- ・公開授業による指導力の向上
- ・シラバスと研究紀要の制作

- ・危機管理と防災体制の周知徹底

- ・生徒の授業評価の実施とフィードバック
- ・学校満足度調査の実施とフィードバック
- ・外部評価のフィールドバック
- ・学校評議員会の効果的運営

課題1

- ・基礎学力と応用力の育成
- ・自立的に学ぶ姿勢の育成
- ・職業観に基づく進路実現

課題2

- ・地域に信頼され期待される学校づくり
- ・学校並びに教員の発展的変革

- ・時事に応じた教育課程の検討
- ・各学科教育の在り方の検討
- ・学科間の相互扶助と協働体制
- ・職員の専門性と指導力の向上
- ・危機管理の意識向上と徹底
- ・PDCAサイクルの確立

教育方針

- ☆確かな学力をつける教育
- ☆個性と感性を伸ばす教育
- ☆創造性と協働性を育む教育

課題4

- ・生活習慣の確立
- ・生きる力の育成

- ・中高連携事業の推進

課題3

- ・ローカル&グローバル教育の推進：「ふるさと教育」の推進、「コミュニケーション教育」の拡充、「英語教育」の充実
- ・中高連携体制の確立
- ・小・中・高の教職員の相互交流

地域創生を主眼とした一貫教育

- 【コミュニケーション教育】
- ・プロフェッショナルな外部講師によるグループワークの実践
- ・中学校と地域、進路先を含めた外部とのグループワークの実践
- ・生徒の社会参加の場の提供
- ・卒業生（先輩）高校生活報告会
- ・部活動指導交流

方針3

- ・中高一貫のカリキュラムの開発
- ・研修会及び授業参観の実施、課題の共有化
- ・中高教員間の交流と情報の共有
- ・中高生徒間交流の実践
- ・母校訪問、高校生が先生として教える授業
- ・中学生と合同授業、高校生技術指導補助交流【ふるさと教育】
- ・地域理解に関する横断的授業の充実
- ・地域活性化に向けた創造的授業の展開
- ・地域に根付く特色ある教育活動の実践【英語教育】
- ・小中高一貫する系統性と連続性のある実用的な英語教育の構築
- ・海外研修の実施
- ・中高生英語合宿
- ・外国人観光客ガイドボランティア
- ・但馬ツアー-外国語案内サービス
- ・実践力の強化（外部派遣ALTの参加）
- ・スピーチコンテストなどへの参加者の増進
- ・GTEC・TOEFLの積極的受験
- ・ひょうごごローカル・リーグ-育成事業の活用

実践3

- ・健康管理のための広報と啓発（保健日より）
- ・皆勤、精勤の奨励
- ・朝のあいさつ運動の実施
- ・生徒会の自主自立的活動の支援
- ・部活動の加入率の増進と活性化
- ・HR活動の充実と活性化
- ・芸術鑑賞による感性の育成
- ・生徒指導態勢の統一と徹底
- ・いじめを見逃さない統一認識
- ・人権HR及び行事の実施と運営の工夫
- ・青少年問題に関する講演会の開催
- ・「心の健康相談」による専門家対応
- ・キャンパスカウンセラーとの連携
- ・特別支援を必要とする生徒への細かな対応
- ・職員間の生徒情報の周知と共通理解

方針4 生命の尊厳と生きる力の育成

- ・自己管理能力の育成
- ・倫理観及び社会規範意識の育成
- ・人権と生命の尊厳と尊重
- ・内面的理解に基づく指導
- ・心の教育の推進
- ・個に応じた特別支援教育の推進

実践4